

平成26年度がん登録部会

全体目標

がんにより死亡する人の減少
がんの年齢調整死亡率(75歳未満、人口10万人当たり)を平成29年
度までに20%減少させる。

すべてのがん患者及びその家族の苦痛の軽減並びに療養生活の質の維持向上

部会が
担当する
分野の
課題と目
標

【目標】がん対策の計画をするための基礎データが整って、活用されている

中間目標 罹患数と死亡数の比が1.5~1.7。25施設でQIが測定される。

指標 ①罹患数と死亡数の比(1/M比)
②QI(標準的な診療がどの程度行われているかの実行率)

測定方法 ①届出数と人口動態統計の死亡数の比
②必要な項目をカルテから収集

最終目標 罹患数と死亡数の比1.8~2.0。すべての施設でQIが測定され、がん医療の
質の向上がはかられている。

指標 ①罹患数と死亡数の比(1/M比)
②QI(標準的な診療がどの程度行われているかの実行率)

測定方法 ①届出数と人口動態統計の死亡数の比
②必要な項目をカルテから収集

施策
毎の
アウト
カム
目標

【アウトカム1】

2014年3月までに、新沖縄県保健医療計画におけるが
ん専門施設で、地域および院内がん登録が行われる。
<指標>
地域がん登録・院内がん登録実施施設数、DCO

【アウトカム3】

登録の重要情報に欠損
がない入力ができている。
<指標>
5大がんのステージ入力
率

【アウトカム4】

5大がんの
詳細な情報
が把握でき
る。

【アウトカム5】

がん診療の
質が向上す
る。
<指標>
QIの点数

施策
毎の
アウト
プット
目標

【アウトプット】地
域および院内
がん登録の実
施調査の結果
を更新し、公
開する。
対象：がん専
門施設

【アウトプット】
2015年3月ま
でに、がん専
門施設すべて
で院内および
地域がん登録
を実施する。

【アウトプット】毎
年演題を出し、
部会委員が
発表する。ま
た、学会にて
最新の情報を
収集する

【アウトプット】
多くの県民が、
がん登録の
情報を知ること
ができる

【アウトプット】
2015年3
月までに、
それぞれ
が希望する
形で登録
情報が
公開され
る。

【アウトプット】
県で統一
した事後
調査方法を
決定し、
調査を行う。
2015年3月
までに生
存率を算
定する。

【アウトプット】
2015年3
月までに、
がん専門
施設すべて
で初級
修了者が
誕生する。

【アウトプット】
2015年3月
までに、拠
点病院で、
collaborati
vestaging
登録を行
い、結果を
分析する。

【アウトプット】
拠点病院
のがん診
療の質の
評価を行う
ためQIの
測定・評価
を継続的に
行う。

施策
アクション
プラン

【施策1】地
域および院内
がん登録の実
施状況を公開
する。

【施策2】
がん登録をは
じめるにあ
たっての説明
会を企画・開
催する。

【施策3】
がん登録部会
の活動を学
報および実
績を論文化す
る。

【施策4】
一般向けに院
内外に院内が
ん登録に関す
る広報活動
を行う。

【施策5】
拠点病院
のがん登
録情報を
定期的に
開示する。

【施策6】
拠点病院
で予後調
査を実施し
5大がん
の生存率
を算定す
る。

【施策7】
沖縄県
内のがん
登録研
修会を企
画・開催
する。

【施策8】
国立がん
研究セン
ターの実
務者研修
に参加す
る。

【施策9】
拠点病院
において
米国の
collaborati
vestaging
登録を行
う。

【施策10】
拠点病院
においてが
ん診療の
質の評価を
行い、がん
医療の質
が向上する。

ワーク
シート1
で導き
出された
対策項
目

【対策項目1】
地域および院内がん登録を実施する
ための情報提供
体制の強化

【対策項目2】
地域がん登録作業の労力に対する、医療機関
への情報還元体制の整備

【対策項目3】
地域および院内がん登
録実務者のレベルア
ップ

【対策項目
4】
より詳細な院
内がん登録
の実施

【対策項目
5】
がん診療の
質の把握

〈がん登録部会部会：平成26年度経費内訳(案)〉

1. 沖縄県内の地域および院内がん登録の実施状況を公開する。
2. 確実に院内がん登録が実施できるよう、「がん登録をはじめるとの説明会」を実施する。
3. がん登録部会の活動を学会報告および実績を論文化する。

項目	研修場所	人数	単価	支出予定金額	備考
旅費	日本診療情報管理学会 岩手県で開催	4名	185,200 (3泊4日)	740,800	航空券145,200(那覇～福岡～ 花巻往復) 日当8,800/宿泊31,200
計				740,800	

4. 院内外に広報活動を行う。
5. 拠点病院のがん登録情報を定期的に開示する。

項目	冊数	単価	支出予定金額	備考
冊子印刷代	50	8,925	446,250	
データ変換・一部加工			105,000	
計			551,250	

6. 拠点病院で予後調査を実施し5大がんの生存率を算定する。
7. 沖縄県内でがん登録研修会を企画・開催する。

項目			単価	支出予定金額	備考
会場借上費	県医師会館	4回	3,000	12,000	
旅費(県外)	西本	1名	101,000 (2泊3日)	101,000	航空券73,600(東京～那覇往 復) 日当6,600/宿泊20,800
講師謝金(学外者)	3時間	1名	45,000	45,000	西本
講師謝金(学外者)	4回(各1時間)	3名	45,000	180,000	平安・安里・比嘉・仲本(ただし主催 する施設の職員は謝金対象外)
講師謝金(学外者)	3回(各1時間)	3名	15,000	45,000	県内医師
交通費(県内)	4回	8名	2,000	64,000	平安・安里・比嘉・田場・仲本・福 地・県内医師・宮里合計8名
旅費	がん登録研修会	4回	32,200 (日帰り)	128,800	航空券30,000(那覇～宮古往復) 日当2,200
旅費	がん登録研修会	4回	41,600 (日帰り)	166,400	航空券39,400(那覇～石垣往復) 日当2,200
計				742,200	

8. 国立がん研究センターの実務者研修に参加する。

項目	研修場所	人数	単価	支出予定金額	備考
旅費	院内がん登録初級者研修会 (福岡)	2名	77,600 (2泊3日)	155,200	航空券50,200(福岡～那覇往復) 日当6,600/宿泊20,800
旅費	院内がん登録中級者研修会 (東京)	1名	257,800 (5泊6日)	257,800	航空券73,600(東京～那覇往復) 日当132,200/宿泊52,000
旅費	院内がん登録初級者修了者 研修会(東京)	9名	75,800 (日帰り)	682,200	航空券73,600(東京～那覇往復) 日当2,200
旅費	院内がん登録品質管理研修 会(東京)	3名	75,800 (日帰り)	227,400	航空券73,600(東京～那覇往復) 日当2,200
旅費	院内がん登録指導者修了者 研修会(東京)	3名	88,400 (1泊2日)	265,200	航空券73,600(東京～那覇往 復) 日当4,400/宿泊10,400
計				1,587,800	

9. 拠点病院において5大がんで米国のcollaborativestaging登録を行う。
10. 拠点病院においてがん診療の質の評価を行う。

合計 3,622,050

*日 当・・・1日当たり2,200円(国立大学法人琉球大学旅費支給規定参考)

*宿泊料・・・1夜当たり10,400円(国立大学法人琉球大学旅費支給規定参考)

*謝金(学外者)・・・1時間 15,000円(国立大学法人琉球大学諸謝金支給基準単価表参考)